

学校給食における異物混入について

出雲学校給食センターが提供した学校給食の中に、異物が混入していました。本件事案については、発生時に議員の皆様にご報告させていただいておりますが、改めて事故後の対応等を含め、下記のとおり報告し、お詫びいたします。

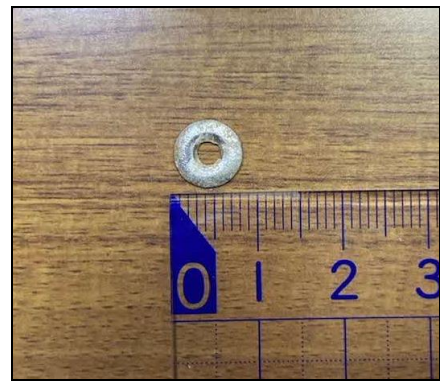
記

1 発生日時・場所

令和6年(2024)3月1日(金)の給食時(13時10分頃)・大社中学校 3年3組

2 発生時の状況

大社中学校 3年3組に配食された給食副菜「ミートボールスープ」に、ドーナツ状の金属と思われる異物1個(直径:約8mm、厚さ:約1mm)が混入していた。女子生徒が「ミートボールスープ」の喫食の最後にスープを口に含んだ際に違和感を感じ、出したところ異物を発見し、担任へ報告した。13時20分、大社中学校から出雲学校給食センターに連絡があった。



3 事故発生後の対応

出雲学校給食センター職員2名が大社中学校に到着し、異物が金属であることを確認した。直ちに、出雲学校給食センターの全ての配食校(小学校15校、中学校8校、幼稚園13園)に対し、健康被害等の確認を行い、園児、児童及び生徒に健康被害がなかったことを確認した。

出雲学校給食センターの調理場内の調理器具等の点検を行い、異常がないことを確認した。また、食材納入検査においても異常がなかったことを確認した。

4 「ミートボールスープ」の使用材料

ミートボール、じゃがいも、たまねぎ、にんじん、ぶなしめじ、キヌサヤ、ブイヨン、うすくちしょうゆ、食塩、白こしょう、水

5 混入異物の成分分析の結果

専門機関に成分分析を依頼した結果、混入異物はステンレス製であり、用途は身近な家庭用品、建築用途、自動車部品など多岐にわたり使用され、形状から部材同士を接合するリベットやハトメの一部であると推測されました。

6 再発防止策

- ・食材納入業者が事前に金属探知機を通していない食材は、給食センターにおいて金属探知機に2回以上通す。
- ・金属異物は汁物の底に沈むため、給食センターでの調理時、釜の底の部分に残った汁は給食食缶には入れずに廃棄し、異物混入リスクを減らす。
- ・釜から各食缶に配食する前に食缶内部を複数人で目視する。
- ・配食までの全ての関係者に対し異物混入対策の徹底について注意喚起を行う。